

# \*コーディネーターだより\*

NO.2

2021.7 大宮ろう学園

特別支援教育コーディネーター

## 支援籍学習（交流及び共同学習）について



『支援籍学習』（さいたま市では『交流および共同学習』）とは、本校の児童生徒が居住地の小中学校において学習や行事などで交流することをいいます。同じく、地域の小中学校の児童生徒が大宮ろう学園に来て交流することも支援籍学習です。その他、特別支援学校間での交流や体験学習もあります。

今年度、本校から地域の学校への支援籍学習を希望している児童生徒は40名（間接交流を含む）、地域から本校へ来て交流する児童生徒は9名です。（間接交流を含む、7月現在）1年生は、2学期から行います。

支援籍学習（交流及び共同学習）では、コーディネーターや担任・副担任が引率し、一人一人の交流の目的が達成できるよう、児童生徒の実態に応じて支援しています。



### ☆1学期の支援籍学習の様子☆



外国語の授業  
ミャンマー式ジャンケン



字幕付き動画が分かりやすかった図工の授業



なかよくなるう会



休み時間の様子



小学校の給食もおいしい



難しい運動にも挑戦

地域の小学校に在籍している友達が  
本校で学んでいる様子



## 巡回・教育相談について

地域の学校に在籍している小学生から高校生の聴覚に障害のある児童生徒、保護者、関係機関に対して、きこえやことばに関する相談を行っています。児童生徒が在籍している学校を訪問して、補聴器や人工内耳の管理、ロッジャーやUDトークの活用、コミュニケーションの取り方、授業での配慮など、関係者同士で話し合い、実態に合った支援を考えます。また、要望に応じて難聴に関する理解啓発授業なども行います。7月現在で、18校の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校を訪問しました。